



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月8日  
東・名・福

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所  
コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員広報・IR担当 (氏名) 高尾 信一郎 (TEL) 03-5293-1704  
四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	27,761	11.6	2,120	96.6	2,855	582.9	2,362	1,979.9
2021年2月期第1四半期	24,882	△14.9	1,078	△61.2	418	△85.4	113	△94.1

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 6,070百万円(160.1%) 2021年2月期第1四半期 2,333百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	28.91	28.89
2021年2月期第1四半期	1.39	1.39

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	299,904	256,489	84.9
2021年2月期	299,861	253,809	84.1

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 254,658百万円 2021年2月期 252,066百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	41.75	—	41.75	83.50
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	42.00	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,900	7.3	10,700	0.3	12,700	7.4	9,900	7.0	121.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期1Q	85,164,895株	2021年2月期	85,164,895株
2022年2月期1Q	3,430,507株	2021年2月期	3,430,483株
2022年2月期1Q	81,734,388株	2021年2月期1Q	81,666,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2021年7月8日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。売上高は増収、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はともに増益となりました。

## &lt;売上高&gt;

売上高は、277億6千1百万円(前年同四半期比11.6%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、今年度に初めて実施された薬価の中間年改定や、継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けましたが、経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」の売上が伸長したことや、昨年4月の全国を対象とした緊急事態宣言下における受診抑制の反動に加え、デジタルマーケティングを効果的に活用したこともあり、前年同四半期比9.1%の増収となりました。また、経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「ジクトル®テープ」は2021年3月に製造販売承認を取得し、同年5月に販売を開始しています。一般用医薬品事業は、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用した効果的な販促活動を行い、主力商品の「サロンパス®」等の売上が増加、「アレグラ®FX」が小容量を中心に売上を伸ばしたこと等により、前年同四半期比32.6%の増収となりました。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受け、前年同四半期比5.2%の減収となりました。一般用医薬品事業は、一部地域においては新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けたものの、米国及びアジアを中心としたその他の地域でも売上を伸ばし、前年同四半期比14.0%の増収となりました。

## 〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2021年2月期 第1四半期実績	2022年2月期 第1四半期実績	増減額	増減率
売上高		24,882	27,761	+2,878	+11.6%
医療用医薬品	日本	12,079	13,180	+1,101	+9.1%
	海外	3,466	3,287	△179	△5.2%
	米国	2,574	2,377	△196	△7.6%
	その他地域	892	909	+17	+2.0%
一般用医薬品 その他	日本	3,688	4,891	+1,203	+32.6%
	海外	4,992	5,689	+697	+14.0%
	米国	3,254	3,573	+318	+9.8%
	その他地域	1,737	2,116	+378	+21.8%
その他事業	日本	656	712	+55	+8.5%

なお、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人の大幅な減少によるインバウンド需要の消失など、営業収益等の減少の影響を受けています。

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、新型コロナワクチン接種が進行すること等による各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの需要は今後も徐々に回復していくものと想定しています。

#### <利益>

営業利益は、21億2千万円(前年同四半期比96.6%増)となりました。その主な要因は、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費につきましては、販促活動の増加により144億7千9百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。

経常利益は、28億5千5百万円(前年同四半期比582.9%増)となりました。その主な要因は、営業利益の増加に加えて、為替差益が増加したことによるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、23億6千2百万円(前年同四半期比1,979.9%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加に加えて、投資有価証券売却益を計上したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

#### <資産、負債、純資産の状況>

総資産は、前連結会計年度末と比較して4千3百万円増加し、2,999億4百万円となりました。主な増減は、現金及び預金(61億6百万円増)及び受取手形及び売掛金(75億7千6百万円減)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して26億3千6百万円減少し、434億1千5百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金(15億3千万円減)、電子記録債務(22億5百万円減)及びその他流動負債(9億2千2百万円増)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して26億7千9百万円増加し、2,564億8千9百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(10億4千5百万円減)、その他有価証券評価差額金(4億3千6百万円減)及び為替換算調整勘定(41億4千万円増)です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2021年4月8日)の予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	114,254	120,361
受取手形及び売掛金	39,546	31,969
有価証券	21,743	22,804
商品及び製品	11,359	10,902
仕掛品	465	661
原材料及び貯蔵品	6,744	6,743
その他	4,290	5,720
貸倒引当金	△343	△359
流動資産合計	198,061	198,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,180	14,231
その他（純額）	23,174	24,228
有形固定資産合計	37,354	38,460
無形固定資産		
販売権	27	22
その他	1,150	1,124
無形固定資産合計	1,178	1,147
投資その他の資産		
投資有価証券	54,602	53,059
その他	8,878	8,648
貸倒引当金	△214	△214
投資その他の資産合計	63,267	61,493
固定資産合計	101,800	101,100
資産合計	299,861	299,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,672	6,141
電子記録債務	7,127	4,921
短期借入金	1,111	1,111
未払法人税等	608	1,209
返品調整引当金	103	108
賞与引当金	1,350	339
その他	12,082	13,005
流動負債合計	30,057	26,837
固定負債		
長期借入金	296	273
退職給付に係る負債	7,928	7,999
その他	7,769	8,305
固定負債合計	15,994	16,578
負債合計	46,051	43,415
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,352	2,352
利益剰余金	233,376	232,331
自己株式	△11,495	△11,496
株主資本合計	232,707	231,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,165	15,729
土地再評価差額金	3,790	3,784
為替換算調整勘定	△1,173	2,966
退職給付に係る調整累計額	575	514
その他の包括利益累計額合計	19,359	22,995
新株予約権	232	241
非支配株主持分	1,510	1,589
純資産合計	253,809	256,489
負債純資産合計	299,861	299,904

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	24,882	27,761
売上原価	9,672	11,162
売上総利益	15,210	16,599
販売費及び一般管理費	14,132	14,479
営業利益	1,078	2,120
営業外収益		
受取利息	235	33
受取配当金	69	96
為替差益	—	584
その他	75	209
営業外収益合計	379	924
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	737	—
持分法による投資損失	272	159
その他	27	28
営業外費用合計	1,040	189
経常利益	418	2,855
特別利益		
固定資産処分益	—	6
投資有価証券売却益	1	652
特別利益合計	1	659
特別損失		
固定資産処分損	0	29
特別損失合計	0	29
税金等調整前四半期純利益	418	3,485
法人税等	334	1,050
四半期純利益	84	2,434
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	72
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	2,362

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	84	2,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,379	△444
為替換算調整勘定	△1,107	4,133
退職給付に係る調整額	48	△64
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	11
その他の包括利益合計	2,249	3,636
四半期包括利益	2,333	6,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,422	6,005
非支配株主に係る四半期包括利益	△88	65

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している海外関係会社において、ASC第842号「リース」を、当第1四半期連結会計期間より適用しています。

これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。

当該会計基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他(純額)」が1,018百万円、流動負債の「その他」が210百万円、固定負債の「その他」が806百万円増加しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

# 貼るを、未来へ。



## Hisamitsu



東京2020オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）



筋肉痛・筋肉疲労などに  
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に  
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに  
第2類医薬品



筋肉痛・筋肉疲労などに  
第3類医薬品